

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立町田高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
副校長、経営企画室長、総務・広報部主任（主任教諭）＝事務局長、事務担当 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、総務・広報部主任、調査研究・研修部主任、ICT推進委員会主任 計9名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表（PTA会長）、同窓会代表（同窓会長）、地域住民代表（町田市青少年健全育成町田中央地区委員会副委員長）、近隣中学校長（町田市立第一中学校長）、有識者（大正大学、拓殖大学、東京都立大学）3名、関係機関等（町田市教育委員）名 計8名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催
第1回 令和5年6月20日(火) 内部委員9名、協議委員4名
協議委員の委嘱、委員紹介、学校経営報告、学校経営計画、学校評価アンケート結果、各分掌の現状と課題
第2回 令和5年11月10日(木) 内部委員9名、協議委員4名
学校評価アンケートの質問項目、第2回授業アンケートの予定、各分掌の現状と課題
第3回 令和6年3月8日(金) 内部委員9名、協議委員5名
学校評価アンケート実施報告、第2回授業アンケート結果、内部委員からの組織目標に対する成果と課題の報告、協議委員アンケート
- (2) 評価委員会の開催
第1回 令和5年11月10日(木)
学校評価アンケートの設問内容
第2回 令和6年3月8日(金)
学校評価アンケート実施報告

3 学校評価アンケート

- (1) 学校評価の観点
学校経営計画の達成状況を学校運営、学習指導、特別活動、生活指導、進路指導、保健指導等
- (2) アンケートの対象及び実施時期

対象者	対象者数	回答数	回答率	実施時期
在校生	940名 (①320, ②320, ③300)	799名 (①299, ②288, ③212)	85.0% [74.8%]	12月
保護者	940名	639名	67.9% [71.9%]	1月
教員	50名	49名	98.0% [96.1%]	12月
中学校・地域		35名 [132名]		12月

※昨年度は学校説明会での来校者を対象に実施

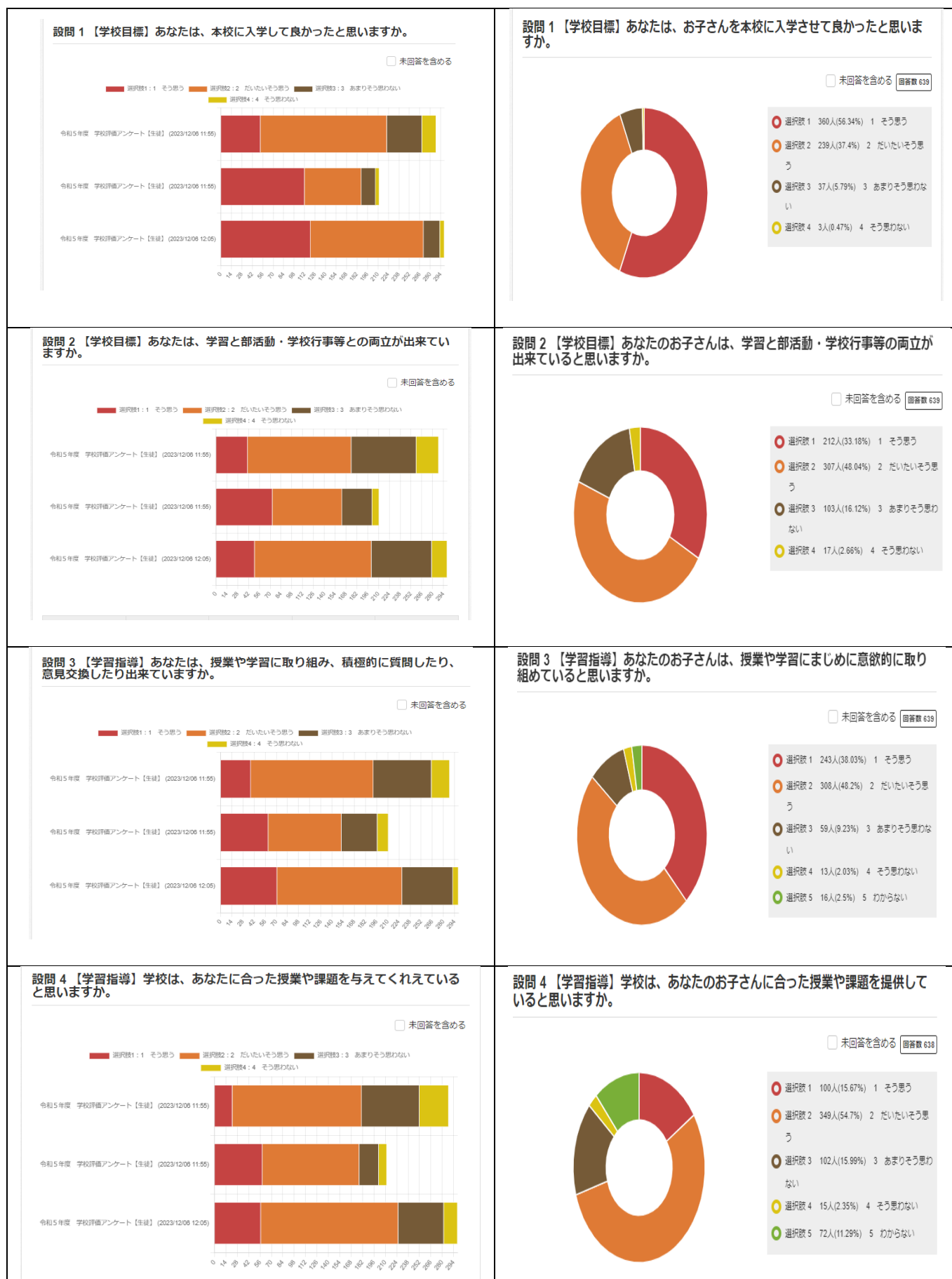
※保護者はClassiを利用した回答582、紙回答92

- (3) アンケートの評価項目
 - ① 学校目標 入学満足度、学校生活の充実度、
 - ② 学習指導 主体的・意欲的な取組、個別最適な学び、協働的な学び、ICTを活用した教育、評価規準の明示
 - ③ 進路指導 第一志望の支援、進路情報の提供
 - ④ 生活指導 いじめ防止に対する組織的な取組、体罰・暴言のない指導、安全指導・防災教育の実施
教育相談の環境整備
 - ⑤ 学校経営 働き方改革の取組(教員対象)

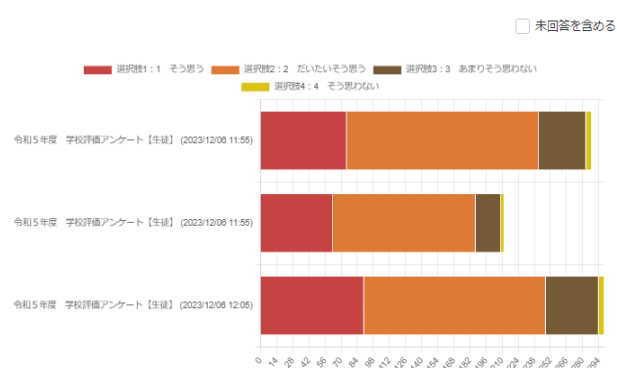
(4) アンケートの結果

問 1～問 11 生徒・教員は 4 段階で、保護者・来校者は⑤を含めた五つの選択肢から回答する。

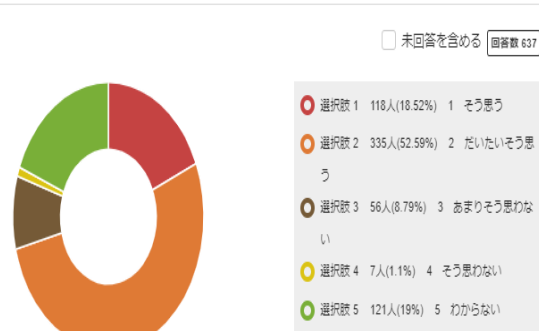
①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない



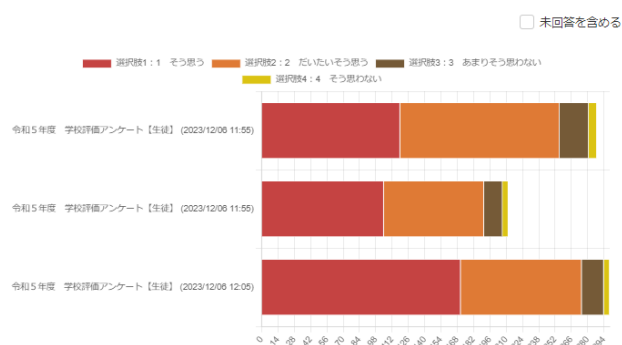
設問 5【学習指導】学校は、各教科・科目の成績評価の規準を明示していると思いますか。



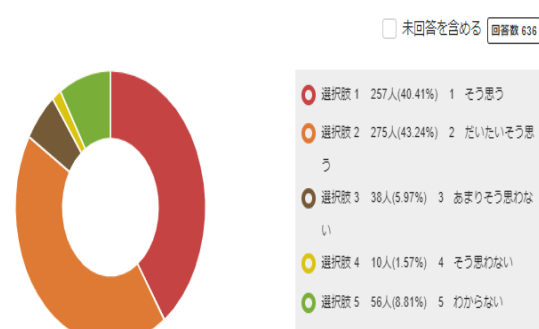
設問 5【学習指導】学校は、生徒に各教科・科目の成績評価の規準を示していると思いますか。



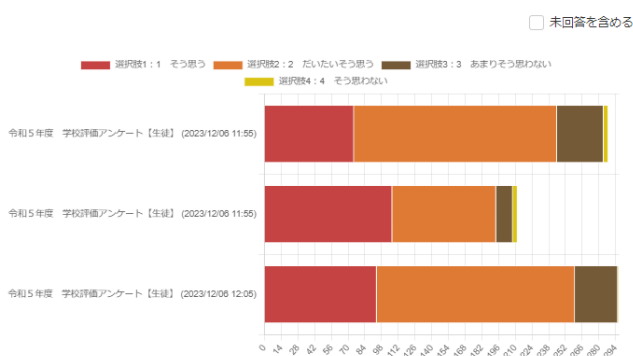
設問 6【オンラインの積極的活用・定着】学校は、講義や板書だけでなくiPadやClassi・TeamsなどICTを活用した授業を行っていますか、学習に役立っていますか。



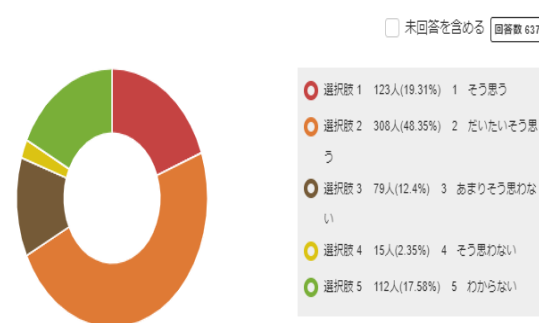
設問 6【オンラインの積極的活用・定着】学校は、iPadやClassi・TeamsなどICTを活用した教育に取り組んでいますか、生徒の学習に役立っていますか。



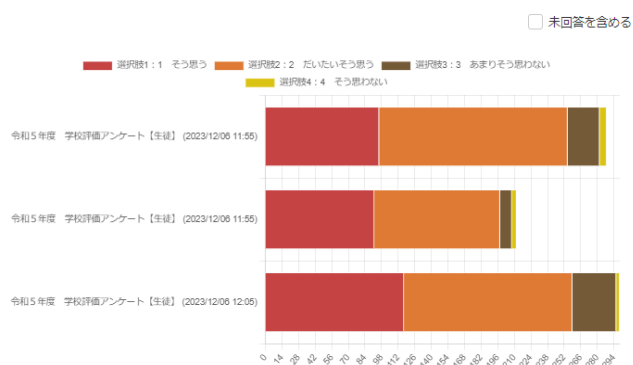
設問 7【進路指導】進路指導部や担任は、あなたの第一志望の実現を支援し、進路に関する情報を十分に提供してくれていますか。



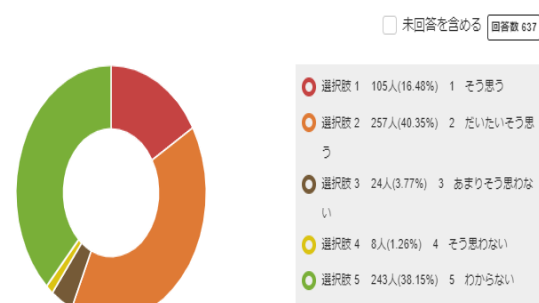
設問 7【進路指導】学校は、生徒の第一志望の実現を支援するよう、進路に関する情報を適切に提供し、組織的・計画的な進路指導を行っていると思いますか。

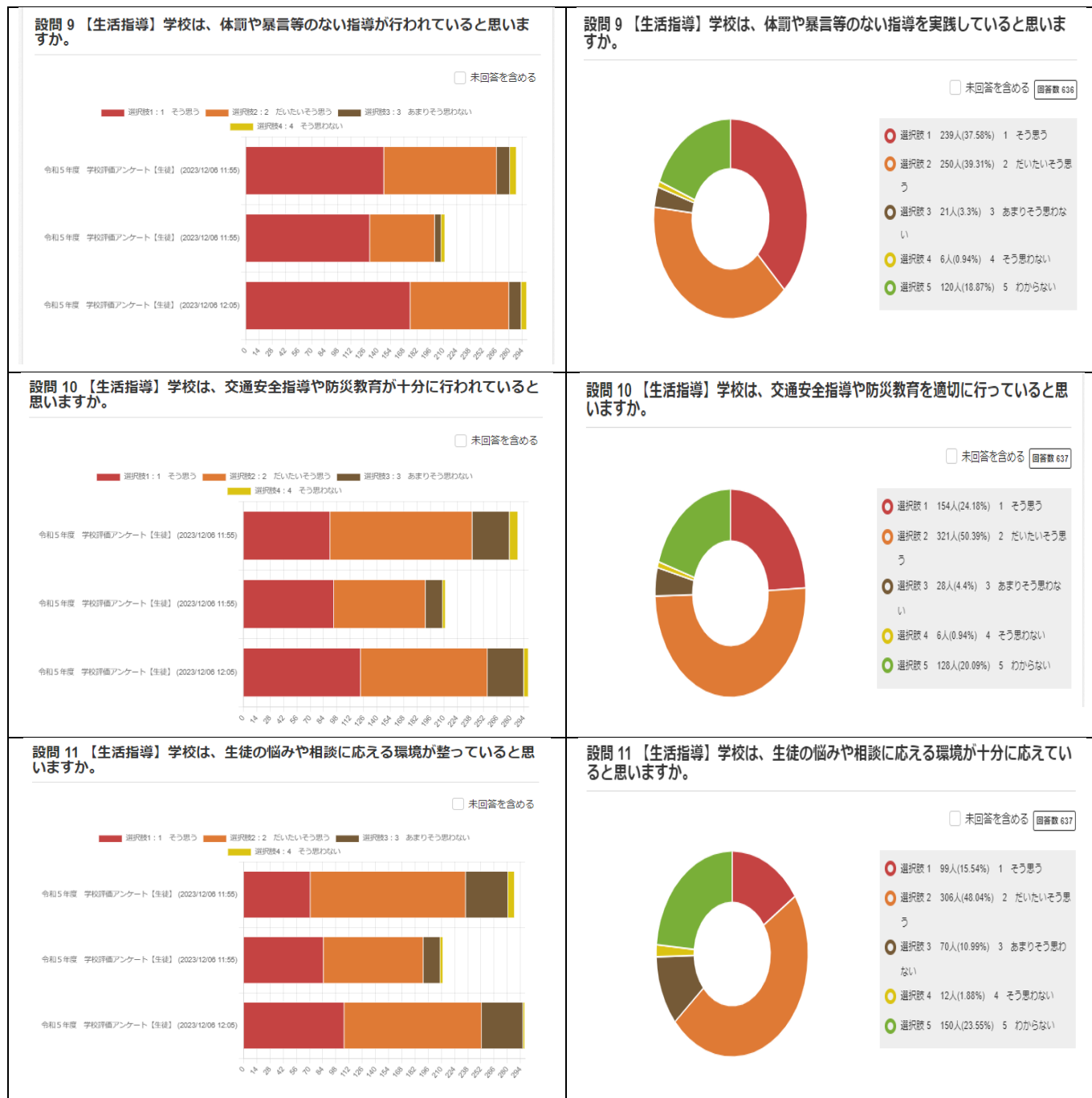


設問 8【生活指導】学校は、いじめの未然防止や早期発見が出来ていると思いますか。



設問 8【生活指導】学校は、いじめの未然防止や早期発見に組織的に取り組んでいると思いますか。





(5) 結果の考察 数値は肯定的な割合〔昨年度の割合〕

① 学校運営

- ・「入学満足度」は、生徒 85.4% [84.6%]、保護者 93.7% [89.5%]、教員 93.9% [91.8%] と増加しており高い。
- ・「学校生活の充実度」は、生徒 68.3% [87.2%]、保護者 81.2% [88.4%]、教員 71.4% [89.8%] とコロナ禍が明けた1年目で期待と実施のギャップによる数値低下と見受けられる。

② 学習指導

- ・「主体的・意欲的な取組」は、生徒 71.6% [83.7%]、保護者 86.2% [85.7%]、教員 79.6% [82.7%] と、解離の状況が見受けられる。
- ・「個別最適な学び」は、生徒 74.0% [71.0%]、保護者は 70.3% [54.2%]、教員 79.6% [73.5%] と比較的高い。
- ・「評価基準の明示」は、生徒 85.0% [86.9%]、教員 85.7% [93.9%] と比較的高い。保護者は、71.0% [72.8%] と若干低く生徒間との情報共有が関係しているのではと伺える。
- ・「ICTを活用した教育」は、生徒 90.2% [94.2%]、保護者 83.6% [92.4%]、教員 93.8% [98.0%]、といずれも非常に高い。

③ 進路指導

- ・「第一志望の支援、進路情報の提供」は、生徒 87.9% [83.7%]、教員 65.2% [88.8%]、保護者 67.6% [62.8%] と生徒は高水準である。保護者及び教員の数値の改善には、家庭内での情報共有や教員からの発信により改善できると思われる。
- ・教員の「講習・補修・補講の開講」は、教員 67.3% [93.9%] と昨年度より大きく低迷した。学年主体の開講を行っている状況を学校全体で組織的な取組を行うことが急務である。

④ 生活指導

- ・「いじめ防止に対する組織的な取組」は、生徒 89.5% [88.3%]、教員 93.8% [93.8%] と高い。保護者 56.8% [58.4%] は過半数に止まっているが、分からないという回答率が 38.1% と非常に高い。
- ・「体罰・暴言のない指導」は、生徒 93.6% [99.9%]、教員 93.8% [95.9%]、保護者 76.9% [78.1%] と生徒・教員は高い水準にあるが、100%にすることが必要である。
- ・「安全指導・防災教育の適切実施」は、生徒 86.2% [90.0%] 及び教員 83.6% [91.8%]、保護者 74.4% [60.2%] と高い傾向はある。次年度は地域合同防災教育を行う予定である。
- ・「教育相談の環境整備」は、生徒 85.5% [88.3%]、教員 85.7% [87.8%] は高い、保護者 63.5% [63.6%] はやや高い程度に止まっており、分からないという回答率 23.5% と高い。

⑤ 学校経営

- ・働き方改革の取組(教員対象)に関しては、「各種会議の時間短縮、校務の効率化、勤務時間の縮減」は教員 53.0% [22.4%] と昨年との比較では上昇したが、過半数に留まっている。

4 協議議員からの意見等

(1) 協議委員人数 8 人

(2) 「学校がよくなった」と考える協議委員の回答 (人数)

そう思う	多少 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない	無回答
5	2					1

(3) 協議委員からの意見

- ・地域住民を代表して、生徒が落ち着いてきていると感じている。挨拶運動の時に、挨拶をしてくれる生徒が増えてきた。
- ・コロナが収束してきた後の行事についてどのような変化があったのか。新しい気づきがあったのであれば、今後の行事にも活かしてほしい。
- ・昨年度の募集倍率の減少から、HP や新しく X (旧 Twitter) を活用したことにより、生徒及び外部に対して活発な情報発信が行われたと認識している。それらによる受検倍率の上昇を高く評価している。
- ・総括を拝読し、先生方の組織的な分掌運営を一年間行ったことの評価をしている。
- ・進路指導部が土曜講習の齟齬の解消に努めていたことは非常に評価している。
- ・探究活動や ICT の活用は高く評価している。この町田高校にとって更なるウリにしてほしい。
- ・探究活動の 1 日フィールドワークを高く評価している。他校も同様のことを考えているところが増えてきている。入試では探究で調べた結果より、調べている過程で身に着けた力を見る。
- ・大学入試においては、学力だけではなく意欲を評価している部分もある。生徒の興味探究を更に深められるような生徒の指導を続けていただき、大学に繋がるようにお願いしたい
- ・子供達の生活の様子がわかるように、classi 等を通じて保護者にも情報を発信してほしい。
- ・年に 1 回程度は三者面談を実施してほしい。
- ・ICT の先進的な活用について、考える力と・発信力についての関連はどうなっているのか。
- ・ICT をツールとして活用しているが、どのように共有しているか、表現しているのか知りたい。
- ・高校の三年間は、学習に加えて人格形成を行う時期でもある。今後より一層のコミュニケーション力が必要とされる。高校時代には是非醸成させる雰囲気づくりを。同窓会も協力します。
- ・町田高校の先生方の教育に感謝している。